



## 伝統的建造物の修理が完了しました(平成29年度伝建地区補助金対象工事)

平成29年度伝建地区補助金を活用した、伝統的建造物の修理工事が完了しましたので、ご紹介します

### 《服部家住宅塀修理工事》

伝統的建造物群保存地区保存事業による修理工事第1号は、服部良也家住宅と寿限無茶屋の間にある高塀の修理です。修理前は土台及び柱の一部等の腐食により塀が敷地側に傾き、漆喰や名栗板の損傷が著しい状態でした。

本体修理工事では、土台の入替えや柱等の根継ぎが必要だったことから、塀本体をジャッキアップして作業を行いました。名栗板は反りなど経年劣化による損傷が著しく再利用ができない状態であったため、新たな栗の板に手斧(ちょうな)削りを施し、古色塗りで仕上げました。また、既存の黒漆喰表面が繊維質のような特殊なものであったことから、塀裏側の一部にそのまま既存の黒漆喰を残し、修理前の履歴を確認できる状態にしました。



修理前



塀裏側  
既存の黒漆喰



修理後

### ◆所有者の感想

思い起こせば準備から完成迄2年を要し、有松が重伝建地区になり初の工事でしたので、様々な制約の中で戸惑う事も多々ありましたが、終わってみると、古来より伝わる工法を駆使し、古い町並みに調和した見事な出来栄に感無量です。たかだか塀ですが、有松の町家建築の粋がすべて凝縮されています、関係者の方々にはこの場を借りて心より感謝致します。東海道に面して2本の松とのコントラストが見事です、有松の観光スポットの一つになればと思います。

### ◆所有者の感想

柱の根継ぎ技術、栗板に施した矢羽模様、有松に相応しい黒壁と、後世に伝えたいという熱意と手技の温もりを感じる壁になりました。伝建地区保存事業の長いスパンという特性により、納得いくまで考える事ができました。最後まで辛抱づよくお付き合い下さいました関係者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

## 《竹田家住宅（笹加）土蔵及び塀修理工事》

土蔵（一・二番蔵及び三番蔵）の漆喰塗替えと、茶室の前にある塀の修理を行いました。

茶室前の塀は、柱や土台など木部の腐食が特に著しい状態であったため、一度、全て解体し、残せる部材を丁寧に選別しながら修理工事を行いました。瓦、柱、棟木、腕木、土壁の土などを再利用しました。一・二番蔵及び三番蔵は、重伝建選定前から定期的に修理が施されていたため、今回は下屋根より下の白及び黒漆喰やなまこ壁の塗替えを行いました。



塀の柱は計8本のうち、6本を根継ぎして残しました。



### ◆所有者の感想

事前段階から綿密な計画を立てての修理工事となりました。特に一・二番蔵及び三番蔵は、昔から定期的に修理し、今回の修理がその集大成となります。やはり塗り直した黒漆喰の色は美しく、まちの方々や竹田嘉兵衛商店に関わってくださる全ての方々にとっても大変よろこばしいことであると感じます。建物は日々劣化しますが、日本の伝統的な建造物は手を施せばよみがえると改めて実感いたしました。

## 有松町並みガイドラインができました

有松町並み相談会に協力いただき、作成を進めてきた「有松町並みガイドライン」が完成しました。ガイドラインには町並み保存の考え方や制度の概要、地区内で建築行為等を行う際にあらかじめ留意いただきたいことをまとめてあります。

工事をお考えの際は役立てていただけますと幸いです。



▲市公式ウェブサイトでも掲載しています

伝建地区指定から約2年が経ちましたが、改めて制度の周知を図るために説明会の開催を予定しています。説明会では地区内で建築行為等を行う際に必要になる手続きや補助制度等について説明します。開催日時等の詳細は改めてご案内いたしますので、ぜひご参加ください。

伝建地区・町並み保存地区に関するご意見やご質問は、歴史まちづくり推進室にお寄せください

名古屋市 観光文化交流局 歴史まちづくり推進室

TEL : 052-972-2782 FAX : 052-972-4128 E-mail : a2782@kankobunkakoryu.city.nagoya.lg.jp